

次のAとBの文章を読み、あとの問いに答えなさい。

A わらべものがたり  
 童の話に、むかし老いたる夫婦あり。夫はたきぎを山に折、婦は流れに沿って衣を

採りに行き 川沿いで

あらふに、桃の実一ツ流れて来つ。

たずさへてかへりて夫に示すに、その桃おのづからわかれて、うちに男児ありけり。この老夫婦  
 手に持って 自然に割れて

もとより子なし。この桃のうちなる児を見て喜びて、これをはぐくみ、その名を桃太郎とよぶほど  
 初めから 養い育て

に、その児たちまち大きになりつゝ、力人に勝れて、ひとさとに敵なし。

力は人より 一國

ある日、その母に「きび団子といふもの、あまたとゝのへてたまはれ」と言ふ。母その故を問へ  
 たくさん 準備して ください 理由

ば、「鬼ヶ島におもむきて宝を得んため」といらふ。父聞いて、「いと勇」と誉めて、その言ふま  
 行つて 答える 勇ましい

ゝにす。団子すでにとゝのへしかば、桃太郎これを腰間につけ、父母に辞し別れて、ゆくゆくみちに  
 挨拶をして 道

犬あり、その腰間なるきび団子を見て、「これ一ツたまはらば、従者たらん」といふにとらしつ。  
 くださるなら 家来になりましょう

又、猿と雉子とにあへり。みなきび団子を与えて従者とし、遂に鬼ヶ島に至り。

そのいはむろを責めて、鬼王をとりこにす。鬼どもその敵しがたきを見て、三ツの宝物隠れ蓑、  
 洞穴の住居 生け捕りにした 対抗できない

隠れ笠、打ち出の小槌をたてまつりて、主の命乞いせり。

差し上げて

かくて桃太郎、その宝を受けて鬼王をゆるし、犬、猿、雉子をいて、故郷に帰り。思ふまゝに  
 率いて

富さかへて、父母をやすらかに養ひしといふ事。

B

今は昔、竹取の翁おきなといふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろずの事に使ひけり。  
分け入って  
いろいろなこと

名をば、さかきの造みやつことなむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしが  
根元が  
不思議に思つて

りて寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。  
たいそうかわいらしく  
座っている

翁言ふやう、「我、朝ごと夕ごとに見る竹の中におはするにて、知りぬ。子となりたまふべき人なめ  
いらつしゃたので  
わかつた  
子となりなざるはずの人のようだ

り」とて、妻めのおうなに預けて養はす。いとをさなければ、籠こに入れて養ふ。  
かこ

妻のおばあさん

この児ちご、養ふほどに、すすくと大きになりまざる。三月ばかりなるほどに、よきほどなる人に  
大きく成長していく  
三ヶ月  
一人前の大きさの人

なりぬれば、(大人の女性として)髪かみ上げなどさうして、髪上げさせ、裳も着す。この児のかたち、  
髪上げなど成人の儀式をあれこれ手配して  
成人の女性が着る衣装を着せた  
顔かたちが  
なつたので

けうらなること世になく、屋やの内は暗き所なく光満ちたり。

美しいこと

この世にたぐいなく  
家の中は

(『竹取物語』による)

問 桃太郎とかぐや姫の相違点と共通点を、A Bにおける表現を根拠に、次の①～③の観点ごとに  
 まとめ、表を完成させなさい。

① 誕生のしかた

桃太郎	かぐや姫	共通点
どのように ( )	どこに ( )	どちらも ( )
( ) 誕生した。	( ) 座っていた。	( ) から誕生している。

② 成長のしかた

桃太郎	かぐや姫	共通点
どのように ( )	どのように ( )	どちらも ( )
( ) 大きくなった。	( ) 大きくなった。	( ) 大きくなっている。

③ 成長後の様子

桃太郎	かぐや姫	共通点
何を ( )	何を ( )	どちらも ( )
( ) を備えている。	( ) を備えている。	( ) を備えている。

《解答例》

① 誕生のしかた

桃太郎	どのように (川から流れてきた桃が自然に割れて ) 誕生した。
かぐや姫	どこに (根元が光る竹で、筒の中も光っている竹の中にかわいらしい様子で ) 座っていた。
共通点	どちらも (人間からではなく「桃」「竹」という植物 ) から誕生している。

② 成長のしかた

桃太郎	どのように (誕生してすぐまたちまち大きく ) 大きくなった。
かぐや姫	どのように (三ヶ月で一人前の大きさの人にまで・すくすく) 大きくなった。
共通点	どちらも (通常では考えられないほどの速さで ) 大きくなっている。

③ 成長後の様子

桃太郎	何を (一国に敵がないほどのずば抜けた力・人より強い力) を備えている。
かぐや姫	何を (この世にたぐいないほどの美しさ ) を備えている。
共通点	どちらも (生まれつき人とはかけ離れた能力や容姿・容貌 ) を備えている。

《採点基準》

- A 中心となる語句を根拠として、描写されている内容を不足なく読み取っている。  
 B 中心となる語句に注意して、描写されている内容を読み取っている。